

令和7年度使用
中学校用教科用図書
採択参考資料

保健体育

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	保体 002-72
4 大日本	保体 702
50 大修館	保体 050-72
224 学研	保体 224-72

保健体育

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 4 大日本 50 大修館 224 学研

2 調査研究の観点

- (1) 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 心身の発達段階に適応した健康の課題や体育に関する科学的知識等が取り上げられており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 挿絵、写真、図表等が適切であり、健康や安全、体育への関心を高め、課題の解決に役立つよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

(1) 概括的な調査研究…………… 観点(1) (2) (3) (4)

①教科用図書名・サイズ

②単元の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

③ユニバーサルデザインに関する配慮について

(2) 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること…………… 観点(1)

(3) 個人生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること…………… 観点(2)

(4) 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること…………… 観点(3)

(5) 健康や運動・スポーツへの関心、課題の解決につながる資料に関すること…………… 観点(4)

1 概括的な調査研究

(1) 教科用図書名・サイズ 「中学保健体育」 A 4判 194 ページ

(2) 単元の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

分野	学習指導要領の内容	題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	活用の学びの	発展学習	二次元コード数
保健分野	健康な生活と病気の予防	21	51	39	72	7	28	7	23
	心身の機能の発達と心の健康	10	27	6	24	2	16	2	12
	傷害の防止	8	21	35	24	4	13	3	12
	健康と環境	5	19	17	35	3	11	4	7
体育分野	運動やスポーツの多様性	3	10	39	3	3	3	0	6
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	10	2	12	2	4	0	8
	文化としてのスポーツの意義	3	9	21	3	3	3	1	3

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「活用する」の中の「説明してみましよう」「話し合ってみましよう」「意見を出し合ってみましよう」「発表してみましよう」の箇所数。

※「活用の学び」は、「広げる」と「実習」の箇所数。

※「発展学習」は、「発展」の項目数。

(3) ユニバーサルデザインに関する配慮について

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り込められている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

○各単元の始めには、学習内容について説明されている。

○各単元の始めには、「～でしょうか」という問いで学習課題が示されている。

○各題材の導入には、「見つける」が設定され、学習課題に迫る活動が示されている。

○各題材の学習の流れは、「見つける」「課題の解決」「広げる」で構成されている。

○各単元の「学習のまとめ」は、「キーワード」「章末問題」「日常生活に生かそう」「SDGs について考えよう」で構成されている。

3 個人生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること

○「見つける」には、学習課題に対する自身の考えを伝える言語活動が設定されている。

○「活用する」には、学習したことを使って自身の考えを伝えたり、説明したりする言語活動が設定されている。

○「広げる」には、学習したことや調べたことを表現する言語活動が設定されている。

4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること

- 各単元の始めには、小学校・中学校・高等学校での学習内容が示されている。
- 各単元の始めには、各章の内容項目と道徳科との関連が示されている。
- 各単元の「学習のまとめ」には、学習したことと日常生活やSDGsとの関連が記載されている。
- 教科書内に関連する学習内容がある場合には、マークで示されている。
- 「ポイント」のマークには、資料を読み取る視点が示されている。
- 各題材の最後にある「広げる」には、学んだことを活用できる課題が設定されている。
- 「発展」「章末資料」「読み物」には、発展的な学習内容が掲載されている。
- 「実習」には、リラクゼーションの方法、直接圧迫止血法、包帯法、心肺蘇生法、AEDが取り上げられている。

5 健康や運動・スポーツへの関心、課題の解決につながる資料に関すること

- 「読み物」「章末資料」には、「健康」「安全」「スポーツ」「食育」等に関わる内容の資料が示されている。
- 運動・スポーツの関わり方について、国際的な写真やエピソードを用いて紹介されている。
- 「巻末スキルブック」には、学習内容を身に付けるために必要なスキルが記載されている。
- 学習の手立てとして、キャラクター「クール」と「コール」が登場している。

1 概括的な調査研究

(1) 教科用図書名・サイズ 「中学保健体育」 A4判 171 ページ

(2) 単元の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

分野	学習指導要領の内容	題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習	二次元コード数
保健分野	健康な生活と病気の予防	17	44	75	58	13	21	3	3
	心身の機能の発達と心の健康	9	23	14	23	5	13	1	2
	傷害の防止	8	27	57	17	4	10	2	16
	健康と環境	6	16	13	21	5	7	5	1
体育分野	運動やスポーツの多様性	3	10	29	2	3	3	0	1
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	14	14	13	3	3	1	1
	文化としてのスポーツの意義	3	9	26	3	3	3	0	4

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「話し合ってみよう」「調べてみましょう」の箇所数。

※「学びの活用」は、「活用して深めよう」「実習してみましよう」の箇所数。

※「発展学習」は、「発展」の項目数。

(3) ユニバーサルデザインに関する配慮について

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

○各単元の始めには、学習内容について説明されている。

○各題材の始めの「学習のねらい」には、学習課題が示されている。

○各題材の導入の発問として「つかもう」が設定されている。

○各題材の学習の流れは、「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「活用して深めよう」で構成されている。

○各題材は、本文と資料のページで分かれて記載されている。

○各単元の「学習のまとめ」は、「重要な言葉」「まとめの問題」で構成され、「まとめの問題」は、ウェブサイトで設定されている。

3 個人生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること

○「つかもう」には、学習課題に対する自身の考えを伝える言語活動が設定されている。

○「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」には、学習したことを使って自身の考えを伝えたり、説明したりする言語活動が設定されている。

○「活用して深めよう」には、学習したことや調べたことを表現する言語活動が設定されている。

4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること

- 各単元の始めには、小学校・中学校・高等学校での学習内容が示されている。
- 「リンク」「他教科」には、関連した内容を学習するページや他教科とのつながりが示されている。
- 「家」「地域」のマークには、家庭や地域における取組に関する内容が示されている。
- 各単元の「章末資料」には、学習内容を広げるための資料が掲載されている。
- 巻末の「これからの生活に向けて」には、生活の目標が書き込めるようになっている。
- 「発展」には、発展的な学習内容の読み物や写真、図・表などの資料が示されている。
- 「実習」には、リラクセーションの方法、心肺蘇生法、止血をするための応急手当、外傷の応急手当が取り上げられている。

5 健康や運動・スポーツへの関心、課題の解決につながる資料に関すること

- 読み物資料として、「健康」「運動・スポーツ」「社会」に関わる内容の資料が示されている。
- 運動・スポーツの関わり方について、国際的な写真やエピソードを用いて紹介されている。
- 「ミニ知識」や「トピックス」には、学習内容に関連した情報が記載されている。
- 「重要な言葉」には、各単元の学習内容と関連した用語の解説が示されている。

1 概括的な調査研究

(1) 教科用図書名・サイズ 「中学保健体育」 A 4判 191 ページ

(2) 単元の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

分野	学習指導要領の内容	題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習	二次元コード数
保健分野	健康な生活と病気の予防	20	48	60	59	7	20	5	42
	心身の機能の発達と心の健康	12	28	13	25	8	11	1	29
	傷害の防止	8	22	45	18	14	8	3	21
	健康と環境	8	18	26	22	4	8	2	18
体育分野	運動やスポーツの多様性	3	8	37	1	3	3	0	7
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	12	14	14	0	3	2	10
	文化としてのスポーツの意義	3	8	30	2	2	3	0	6

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「意見を出しあおう」「話しあおう」「発表しよう」の箇所数。

※「学びの活用」は、「学習のまとめ」「実習」の箇所数。

※「発展学習」は、「発展」の項目数。

(3) ユニバーサルデザインに関する配慮について

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

○各単元の始めには、学習の進め方について説明されている。

○各題材の始めには、「きょうの学習」で学習課題とキーワードが示されている。

○各題材の導入「課題をつかむ」には、学習内容につながる問いかけが設定されている。

○各題材の学習の流れは、「課題をつかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」で構成されている。

○各単元の「章のまとめ」は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」で構成されている。

3 個人生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること

○「課題をつかむ」には、意見を出し合う言語活動が設定されている。

○「コラム」「事例」には、生活に関連した情報を提供する読み物資料が記載されている。

○「学習のまとめ」には、話し合ったり、発表したりする言語活動が設定されている。

○「章のまとめ」の「思考・判断・表現」には、話し合い活動が設定されている。

4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること

- 各単元の始めには、小学校・中学校・高等学校での学習内容が示されている。
- 「関連」「他教科」には、関連する学習内容や他教科との関連が示されている。
- 「コラム」「事例」には、学習内容に関連した話題や事例などが掲載されている。
- 「ほり下げる」には、本文中の言葉や内容の解説が記載されている。
- 「保健の窓」「体育の窓」には、保健と体育に関連した話題が記載されている。
- 「発展」には、発展的な学習内容の読み物や写真、図・表などの資料が掲載されている。
- 「実習」には、リラクセーションの方法、心肺蘇生法、きずの手当てが取り上げられている。

5 健康や運動・スポーツへの関心、課題の解決につながる資料に関すること

- 読み物資料として、「健康」「運動・スポーツ」に関わる内容の資料が示されている。
- 「ほり下げる」には、学習内容を広げ深めるための情報が記載されている。
- 「巻頭・巻末資料」「特集資料」には、学習を広げ深めるための資料が示されている。
- 「用語解説」には、学習で必要となる用語の解説が示されている。

1 概括的な調査研究

(1) 教科用図書名・サイズ 「中学保健体育」 A 4判 200 ページ

(2) 単元の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

分野	学習指導要領の内容	題材数	ページ数	写真(枚)	表グラフ(個)	対話的な学習	学びの活用	発展学習	二次元コード数
保健分野	健康な生活と病気の予防	15	47	65	38	27	17	15	27
	心身の機能の発達と心の健康	8	24	9	18	8	8	3	14
	傷害の防止	6	24	60	25	12	7	4	14
	健康と環境	7	16	19	19	12	7	2	9
体育分野	運動やスポーツの多様性	3	9	30	0	4	3	4	6
	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	3	9	10	5	4	3	4	6
	文化としてのスポーツの意義	3	11	32	2	4	3	4	7

※ページ数は、中表紙や単元全体の振り返りのページを除いている。

※「対話的な学習」は、「話し合う」「意見を出し合う」「説明する」等の箇所数。

※「学びの活用」は、「学びを生かす」「実習」の箇所数。

※「発展学習」は、「探究」の項目数。

(3) ユニバーサルデザインに関する配慮について

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

2 課題をつかむ導入や課題の配列に関すること

○各単元の始めには、学習の進め方について説明されている。

○各題材の導入には、「ウォームアップ(課題の発見)」の発問が示されている。

○各題材の始めには、「学習の課題」と「キーワード」が示されている。

○各題材の学習の流れは、「ウォームアップ(課題の発見)」「エクササイズ(課題の解決)」「学びを生かす(学びの活用)」の構成になっている。

○各単元の「章のまとめ」は、「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」で構成されている。

3 個人生活に関わる課題と生活経験等に基づいた言語活動の取扱いに関すること

○「エクササイズ(課題の解決)」には、言語活動を含む学習活動が示されている。

○「学びを生かす(学びの活用)」には、「見方・考え方」を伝えたり、「協働」したりする場面が設定されている。

○「章のまとめ」には、学習したことの振り返り「生活への活用」についての記述欄がある。

4 他領域・他教科等との関連や発展的な学習の取扱いに関すること

- 各単元の始めには、小学校・中学校・高等学校での学習内容が示されている。
- 各単元の始めには、学習内容と関連の深い情報とコラムが掲載されている。
- 「キーワードで見る保健体育の学習内容」「関連」「発展」には、キーワードごとに他教科や他領域、学習内容との関連が示されている。
- 「JOB」には、学習内容に関連する仕事や資格が紹介されている。
- 「探究しようよ！」には、学習内容に関連した資料や発展的な内容が記載されている。
- 「章のまとめ」の「生かそう」「生活への活用」には、学んだ知識を活用できるように設定されている。
- 「実習」には、リラクセーションの方法、心肺蘇生法、きずの手当てが取り上げられている。

5 健康や運動・スポーツへの関心、課題の解決につながる資料に関すること

- 読み物資料として、「健康」「安全」「運動・スポーツ」に関わる内容の資料やデータが示されている。
- 「保健体育と情報」や「ひと・もの・こと」のコラムには、学習内容に関する写真や資料が取り上げられている。
- 個に応じた学習内容の広げ方として、「情報サプリ」が記載されている。
- 学習の手立てとして、キャラクター「ウィズ」が登場している。
- 「キーワードで見る保健体育の学習内容」には、学習内容と関連した知識や情報が示されている。

